NPO 法人 高齢社会の住まいをつくる会　設立 25 周年記念シンポジウム

2050 年の住まいを考える

～AI とロボットと住まいの共進～

介護保険制度導入と共に歩んできた 25 年、社会と住まいは大きな変化を遂げてきました。
在宅での介護サービスが受けやすくなった一方で、少子高齢化に歯止めはかからず、社会保険にかかる財源や介護人材の不足などの問題が顕在化してきました。このような時代だからこそ、私たちは「高齢になっても、障害があっても、誰もが快適に住み続けられる住まい」を求め続けていかなければなりません。そのためには、新しいテクノロジー分野との共進が必要不可欠です。
今回のシンポジウムでは、AI と介護ロボット分野のご研究において、最先端でご活躍なさっている東北大学の平田泰久先生をお迎えし、これから先の 25 年は現実的にどのような変貌を遂げていくのか、2050 年の住まいのあり方を共に想像し、考えます。
次世代の地域社会を支える"住まいの力"のひとつとして、AI やロボットを人々の暮らしの中に上手に取り入れていくために、住まいづくりに携わる私たちに出来ることのヒントを探ります。

2026 年 2 月 1 4 日（土） １３時～１６時

オンライン開催（録画配信あり）

第 1 部 ▌基調講演▐　東北大学 大学院工学研究科 教授 **平田泰久** 氏　Yasuhisa Hirata

テーマ：AI ロボットが拓く 2050 年の住まい
～ムーンショット・チャレンジハウスの取り組み～

プロフィール： 東北大学大学院工学研究科ロボティクス専攻教授．2000 年，東北大学修士課程修了．同年，同大学助手となる．同大学助教授を経て，2016 年より現職．2025 年より総長特別補佐(産学連携担当)．人間支援から工場の自動化まで幅広い分野に応用可能な AI ロボットシステムの研究開発を行っている．2020 年にムーンショット型研究開発事業の PM に採択され，特に介護・ヘルスケア分野での人間支援・人間機能拡張ロボットの導入に取り組んでいる．

第 2 部 ▌パネルディスカッション▐　平田先生、吉田紗栄子（高住会名誉会長）、田畑邦雄（高住会理事長）
進行:小川仙月（高住会理事）　住まいの実情:松橋雅子（高住会副理事長）

テーマ：住まいから次世代型バリアフリー社会を考える

▌参加費▐　一般 2,000 円　高住会会員/学生 1,500 円　（定員 100 名）

▌お申込・詳細▐　Peatix サイトからご確認ください（12/20 より受付開始）
https://sumai260214.peatix.com

▌主　催▐　NPO 法人 高齢社会の住まいをつくる会（高住会）
https://www.kourei-sumai.com

▌後　援▐（公社）日本建築士会連合会 /（一社）東京建築士会 /
（一社）高齢者住宅協会 /（一社）全国福祉用具専門相談員協会（ふくせん）

※本イベントは CPD 単位認定（3 単位）の対象講座です